

OBM マンスリー

2010.11月号 Vol.127

2010年11月25日発行

編集・発行

(社)大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F

TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145

Eメール info@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp

K Y T (危険予知訓練) 実務講習会開催される

労務委員会

- 日 時 10月29日(金) 13時~17時
- 会 場 大阪ビルメンテナンス協会・会議室
- 講 師 松本慶蔵様
- 参加数 19名(第1回目受講者20名)

まず、「災害発生のしくみ」、「現場での防止活動」、「安全の先取り」、「KYTの進め方」について講義があり、作業中の危険に対し常に感性を高めそれを予見しようとするのが、危険の芽の摘み取り、安全の先取り、つまり災害の事前防止に直結するとのことであった。

次に、参加者を4つのグループにわけて以下の体験学習が行われ、全員が与えられた課題に熱心に取組んだ。

【講習の内容】

1. 講義

- ①災害発生のしくみ
- ②現場での防止活動
- ③安全の先取り
- ④KYTの進め方

2. 体験学習1

- ①現状把握(どんな危険が潜んでいるか?)
- ②本質追究(これが危険のポイントだ!)
- ③対策樹立(あなたならどうする!)
- ④目標設定(私達はこうする!)

3. 体験学習2

- ①ワンポイントKYT



なお、次回は来年2月下旬に開催予定ですので奮ってご参加下さい。

労務委員会 労働災害事事故事例

(H22年9月度発生分より)

9月度の報告企業数78社、業務災害は9件、1ヶ月以上の休業見込5件で、墜落・転落1件、転倒4件、切れ・こすれ2件という結果でした。今回は転倒事故によるケースをご紹介します。

9月4日(土)、午前8時00分頃、大和高田のスーパーマーケット、店舗外周の雑草除去作業中に足をすべらせ側溝に足を落とししりもちをついた状態で足を骨折した事例です。

傷病状態は、右大腿骨骨折、休業見込としては、約60日間程度で、入院日数は30日間です。

被害者は、60歳の女性で、清掃業務に従事し、経験年数が6年。比較的ベテランの方ですが、ほんの少しの不注意で、大きな災害となった事例です。

(H22年10月度発生分より)

10月度の報告企業数84社、業務災害は8件、1ヶ月以上の休業見込3件で、墜落・転落0件、転倒4件、激突3件という結果でした。今回は痛ましい通勤時における死亡事故についてのケースをご紹介します。

10月9日(土)雨天の午前6時10分頃、自宅から勤務地に自転車通勤中、後方よりトラックにはねられ負傷、病院に搬送後に死亡、加害者は一時逃亡しひき逃げ事件として報道されたが、夕刻に警察に出頭し逮捕されたという事例です。

被害者の方は、清掃業務に従事している61歳の女性です。

10月の午前6時頃といえば、あたりはまだ暗く運転者からみれば、非常に見え難い状態で、朝夕の通勤時には、暗い状態で、十分な安全配慮が必要であるとの教訓を得た事例です。

22年度 第7回 理事会

11月5日(金) 協会会議室

1. 一般報告

2. 審議事項

- ①定款改正について
- ②臨時総会の日程について

3. 報告事項

- ①中間監査報告
- ②建築物衛生法施行規則改正「特定建築物維持管理権原者」説明会報告
- ③全国協会関係
- ④委員会・部会関係

4. その他

会員企業紹介

社名：信栄ビルサービス株式会社 正会員

所在地：大阪市中央区本町3-3-8 山口興産本町ビル8F
TEL 06-6241-7826

創業：昭和47年9月25日

社是・モットー：

「良い仕事をした人は、必ず認められます」
「大事な仕事を任せられるのは、その仕事ぶりを評価されている人です」

自社プロフィール：

開業以来、ビルメンテナンス事業である「清掃、設備、警備、環境衛生」管理を企業の柱としてやってきましたが、20年程前からは特に「清掃」の研究を徹底してやってきました。

自社PR：

10数年前から研修所を開設し、社員研修をしており、新規採用者には新入社員研修として、清掃の目的・クルーのマナー・労働安全等の座学と、清掃資機材の正しい使用法、各作業の基本動作を中心とした実技訓練を行なった上、各現場に配属しています。

又、従事者研修（現任教育）として、労働安全の向上、事故・クレームゼロを目指して研修に取り組んでいます。特にセキュリティカードや鍵の取扱いについては、従事者研修以外に時間を設け、日々訓練に取り組んでいます。

社名：株式会社YOOコーポレーション 賛助会員

所在地：大阪府藤井寺市大井1丁目4番57

TEL 072-931-7760

創業：個人 平成8年10月

法人 平成15年8月

社是・モットー：

「更なる商品開発」

自社PR：

オンリーワン商品を目指し、人と環境に親しみ、安全性の確保に努めています。

社名：株式会社リンレイ 大阪支店 賛助会員

所在地：大阪市淀川区三国本町2丁目1番10号
TEL 06-6394-4571

創業：昭和19年9月25日

社是・モットー：

企業理念 「快適な居住空間を創造する」

自社PR：

リンレイは、昭和19年の創業以来「快適な居住空間を創造する」という理念のもと、「美・輝きのある空間」、「快適・清潔な暮らし」等の社会環境創造を目指し、その実現・発展に貢献してまいりました。社会の発展や住環境の変化とともに、様々な製品開発を手掛け、社会のメンテナンスニーズにあらゆる角度からお応えする為に、創業以来65年以上に亘り培ってきた技術力と、更なる探究心をもって、常に「変わりつつけていく」ことを原点とし、快適な「未来空間」を創造していくことが使命と考えます。

労働者を1人でも雇っている事業主は 労働保険に加入する義務があります。

事業主の皆さん、労働保険に入っておられますか？

労働保険とは、「労災保険」と「雇用保険」を総称したもので、労働者を1人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

《お問合せ》

労災保険制度については、労働基準監督署へ

雇用保険制度については、ハローワーク（公共職業安定所）へ

大阪労働局 労働保険適用課 (06-4790-6340・6351)

雇用保険課 (06-4790-6320)

大阪労働局ホームページ <http://osaka-rodo.go.jp/>

『技能ルネッサンス！ かながわ2010』

を終えて

理事 福田久美子

去る10月15日～17日の3日間、神奈川県横浜アリーナで第32回全国障害者技能競技大会が開催され、私は10月15日、16日の2日間競技補助をつとめました。昨年からビルクリーニングが競技正式種目として認定され、今年で2回目を迎えました。ビルクリーニングの競技には、大会主催者である独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構の依頼により、私が所属している全国ビルメンテナンス協会のワーキンググループ（障がい者支援専門委員会）から、専門委員（審査委員）2名に加え、10名が補助員として就くことになりました。

ビルクリーニング競技の本番は3日目の17日、前日は選手への注意事項とリハーサル予行演習でした。全国から19の都道府県の選手が参加され、2面しかないコートに、順番に列を作って並び、繰り返し演習を行っていました。ビルクリーニング技能（障がい者）の日本一を競い合うわけですから、ご本人も、付き添いのご家族や支援者、選手出身の都道府県協会の人、真剣そのものです。予行演習とはいえ、本番さながらの緊張感が漂っていました。スタッフ側も選手たちへの公平性をアピールするために、競技に使われる塵（シュレッダーした紙片や湿らしたおが屑）の量、ばら撒き加減やおが屑の湿り加減など、細かいところにも気を配りました。ダスターモップの柄は、アルミ製と手に吸い付くような素材（PPと特殊エラストマー）の2種類用意されましたが、ほとんどの選手は、普段から馴染みのあるアルミ製の柄のダスターモップを使っていました。前日は選手たちが到着直後であったためか、黒い靴を履いて予行演習を行う選手が数名いました。机

の脚部の周りを丁寧に拭き上げる際に、しゃがんで円を描くようにつま先を床に立て、「キュキュッ、キュキュッ」つと。黒い靴はスニーカーでもヒールマークが色濃く付いてしまいます。「あれって、減点対象になるんでしょうか？」あまりよく分かっていない私は、審査委員に慌てて聴いてみると、「減点になっても仕方ないよね。」という返事が返ってきました。モップのかけ方については、東日本と西日本ではこだわりの違いがあるのか、各県協会間で議論になる場面もありました。

最も心に残ったのが、予行演習終了の時刻を過ぎても、熱心に演習を続けられている選手の皆さんの姿です。本当にひたむきなその取り組みを見ていると、少し胸が熱くなりました。大会当日、ビルクリーニング競技のコート周辺は、関係者などを含むたくさんの方々で囲まれていました。選手たちには、かなりの長い時間にわたる集中力が必要とされます。特に印象的だったのが、各選手出身の各県協会の皆さんです。全国大会出場には、各都道府県で行われる地区大会で優勝し、知事からの推薦を受けて選ばれた方たちです。そこに至るまでには、各県協会の支援活動などの協力は欠かせません。〇〇協会の会長さんも、〇〇協会の委員さんも、我が子を応援するかのよう、熱心にエールを送っておられました。なかには、心配のあまり「とても見てられん」と言って、人影に隠れてこっそり応援する会長さんまで…。とても微笑ましい光景でした。アビリンピックの支援活動に取り組むことは、業界における障がい者支援への啓蒙活動として、大変意義深い活動であることはいまでもありません。来年は世界大会（4年ごと）が開催されるため、全国大会はお休みです。

大阪協会では、今年度の選手選抜には至りませんでした。次年度こそは大阪地区大会の開催を実現し、次々年度の全国大会こそは、大阪府代表選手を送り出したいと考えています。皆さまのご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ズームアップ



「しまつの心」についての一考察 —京都BMスローガン『伝承—しまつの心から始まる新しい環境づくり』をきいて—

秋である。秋といえば紅葉、紅葉といえば京都である。ちらほらと紅葉が楽しめるかと思われた先月末、京都にて全国BM青年部大会が催され、全国22都道府県の青年部代表が、昨今の業界が抱える問題について大いに氣勢を上げたものであるが、喧々諤々と熱気を上げる会場を見下ろすかのように掲げられたスローガンにふと興味をそそられた。

曰く『伝承—しまつの心から始まる新しい環境づくり』である。「しまつの心」とは一体何か？ 興味をもって問い合わせると「もったいない」「儉約」等、“ものを大切に使い切るエコロジー精神”であり、「打ち水」「火のしまつ」等“適切な処置を施すこと”でもあるとの事。大辞林にもそう書いてある。京都BM青年

部は、古くからみられる「打ち水」等の「しまつの心」を、現在業界が直面する「省エネ」「環境」などの問題にどう伝承、且つ活かすのか？ を考えてみた。

ところで「打ち水」といえば近年のヒートアイランド現象を緩和する為に名古屋等の大都市で一大行事として実施されたが、京都のそれは左記の行事とは一線を画す、伝統的な町内コミュニティ“町中”での毎朝の大切な仕事であったとの事。隣家への心配りから「打ち水」の時期や範囲など暗黙の了解があったり、またそれを担当するものも一家の主人、主婦、隠居、子供、奉公人などバラエティに富んでいたらしい。このような背景を考えると“伝統的な”「打ち水」を支えるのは“人と人とのつながり”であり、さらに踏み込んでいえば“労働を通じた人と人とのつながり”であるといえる。道路設置のミスト噴射よりも、「打ち水」の跡に淡い感謝の念を想起するのも、見知らぬ誰かの労働の痕跡を感じるからであろう。

この観点から京都BMスローガンを読み替えると「“労働を通じた人と人との

つながり”を土台とした新しい環境・社会づくり」と表現することができるだろう。

それは伝統的社会・家族制度が崩壊し、かわりに殆ど金銭のみによって人がつながるしかない現代社会にあっては非常に根源的な問いかけであり、快適な環境を生み出そうとする運動であると言えるだろう。

ともあれ今回の青年部大会への参加を通じて、京都BMスローガンが青年部によって、根源的な位置から検討されようとする息吹を私は感じました。「業界が緊迫した状況下で『災害援助』など何を悠長な。」と感じた方も居られるかも知れないが、私には頼もしい。何故なら幕末のように停滞した危機的状況にあって時代をラディカル（急進的）に変革した人々は、同時に社会の有り方をラディカル（根源的）に考えた人々であり、それは等しく青年であったのだ。という事実を思い出したから…。

（広報委員 三橋 源一）

委員会・部会

経営委員会

10月15日（金）出席者16名 協会会議室

1. 青年部会報告
青年部会より全国大会についての報告があった。
2. 講演会について
11月16日開催の内容を検討した。
3. ビルディング協会との合同委員会について

青年部分科会

10月15日（金）出席者7名 協会展示室

1. 青年部分科会の本年度事業活動内容について（全国大会）
 - ①青年部全国大会IN京都について青年部から4名参加：平成22年10月20日、21日
 - ②全国大会にて、フォーラムのパネリストとして、大阪協会が選ばれた。
 - ③部会長会議：次回の開催は鳥取県、次々回は九州開催となる。
・今後も今回のフォーラムにそった形でディスカッションを行いたい。
 - ④フォーラム：3つの議題についてディスカッション
・総合評価制度について
・地域防災について
・若年刑余者支援についてなど

広報委員会

10月14日（木）出席者10名 協会展示室

1. 「OBMマンスリー」10月号の編集作業を実施した。
2. 「OBMこみゆにけしよんず」新春号発行のスケジュール確認等を行った。

10月26日（火）出席者7名 協会展示室

1. 「OBMこみゆにけしよんず」新春号の掲載内容及び執筆依頼先を検討した。

賛助会世話人会

10月13日（水）出席者8名 協会会議室

- ミニ展示会及び講習会
1. ミニ展示会と講習会の開催
テーマ「環境衛生について」
 - ①ミニ展示会（6F）11時～15時30分
・出展者 ㈱アルボース・サラヤ㈱・㈱阪

和・ノース㈱・土井謙産業㈱ 5社
・来場者 約55名

②講習会（4F）

- A) ㈱アルボース 13時10分～14時10分
・テーマ 「ノロウイルスの予防と対策」
・受講者 48名
- B) サラヤ㈱
・テーマ 「インフルエンザと感染症対策について」 14時30分～15時10分
・受講者 52名

今後も定期的にテーマを決めて展示会等を推進していく予定

公益・契約事業委員会

10月12日（火）出席者14名 協会会議室（公益事業）

1. ビルメン社会貢献セミナーの総括
 - ①参加者数 146名
・会員企業… 59名
・他府県協会… 11名
・行政・団体… 59名
・一般参加… 17名
2. 障がい者雇用支援スタッフ養成講座について
3. 「契約制度の現状と今後の展望についての意見交換会」について
4. アビリンピックについて
 - ①2010全国障害者技能競技大会（技能ルネッサンス！ かながわ2010）において福田理事がビルクリーニング競技の補佐として10月15日～16日の2日間つとめる。

労務委員会

10月18日（月）出席者14名 協会会議室

1. 労働衛生大会報告
2. KYT（危険予知訓練）実務講習会について
3. 労務管理セミナーについて
蛭井先生より、セミナーの講師及びセミナーの内容等につき、詳細説明及び報告がありました。
4. 労災通災事故事例の報告について
今回通勤災害における死亡事故が発生、詳細内容について議論した。

ビルクリーニング部会

10月14日（木）出席者22名 協会会議室

1. A班、進捗状況の説明
 - ①冊子「免許皆伝 ビルクリーニングマネー

ジャー」の初校確認

2. B班、進捗状況の説明

- ①冊子「今求められる理想的なトイレメンテナンス」の初校確認

警備防災部会

10月20日（水）出席者14名 協会会議室

1. 全体集会の開催について次のように決めた。
 - ①日程 11月22日（月）
13時30分～16時30分
 - ②場所 （社）大阪ビルメンテナンス協会
6F 研修室
 - ③議題
・警備業務に関する当面の諸問題と課題について（府警本部生活安全総務課 池田補佐）
・消防法改正に伴う、大規模地震に対応した消防計画の作成（大阪市消防局予防部 濱出消防指令）
・適正な警備業務の推進対策「事故事例集・苦情事例集」の説明（釘宮専門委員）
2. 「特別建築物維持管理権原者」説明会についての案内
3. 事故事例集の作成・配布状況について釘宮専門委員が説明した。
500冊作成 部会員に配布、活用して頂く。
4. 消防法改正に伴う「防火・防災管理講習資料」の配布
5. 防災実践講座の実施と1回目実施結果について住友委員が報告した。
10月15日（金）は21名が受講して、救命講習、AED使用方法、消火訓練等を行った。

設備保全部会

10月7日（木）出席者74名 ㈱きんでん大阪支社

- 総合設備工事事務所が取り組む施設整備について
1. 講義
 - ①「電気設備の設備診断及びトラブル事例と対策」
・講師 技術本部 深尾和正様
 - ②「空調・衛生設備工事の取り組みと省エネ工事事例」
・講師 環境設備本部 狩野直樹様
 - ③「太陽光発電への取り組みについて」
・講師 技術本部 中島大介様
 - ④「エネルギーの見える化について」
・講師 プラントエンジニアリング部 松尾佳典様

10月19日(火) 出席者17名 協会会議室
設備保全部第6回委員会

- 各小委員会活動報告
(管理技術調査研究)
①メガソーラ実証研究施設(北杜サイト)の見学についての説明。
(研修・見学会)
②「総合設備工事会社を取り組む施設整備について」の研修報告。
(設備保全業務研究)
③東西交流会の分科会セッション③「設備管理業務の品質向上」について内容説明。
【目的】ビルメンテナンス業務の多様化に伴い設備管理技術者のマネジメント能力が求められる今日、設備管理業務の品質向上について、意見交換を行い、今後の部会活動の参考としていく。
【進行役が出席者に尋ねたいこと】
・設備管理技術者に求められる能力
・設備管理技術者のマネジメント能力
・設備管理におけるリスク
以上の目的とテーマで富松委員が進行役として進める。
(環境衛生業務研究)
④ビル管理トラブルの小冊子を作成中との報告。

- (情報交換会)
⑤東京ビルメンテナンス協会との交流会についての説明。
(その他)
⑥低圧電力の基本料金を大幅に削減するエスコントロールシステムについての提案。

講習会等のお知らせ

◆(財)ビル管理教育センター

各種講習会予定

- 清掃作業監督者(新)
平成23年1月17日(月)~18日(火)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成22年11月24日(水)~30日(火)
- 統括管理者(新)
平成23年1月24日(月)~26日(水)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成22年12月1日(水)~7日(火)
- 空調給排水管理監督者(再)
平成23年1月28日(金)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成22年12月1日(水)~7日(火)
- 建築物環境衛生管理技術者(講習)
平成23年2月7日(月)~3月1日(火)
於 阪急千里中央ビル

受付 平成22年12月1日(水)~7日(火)
●統括管理者(再)
平成23年2月2日(水)~3日(木)
於 阪急千里中央ビル
受付 平成22年12月7日(火)~13日(月)

※平成21年度より(財)ビル管理教育センターへ直接、用紙の請求・申し込みをしていただくことになりました。申し込み期間に提出できるように、早めに申込用紙を請求してください。(TEL 06-6836-6605)

事務局からのお知らせ

●代表者・FAX番号変更

[正会員]
・株式会社その興産
(新) 代表取締役 南園良三郎様
(旧) 代表取締役 宮武博様
(新) FAX 06-6535-8687
(平成22年10月25日より)

O B M行事予定

11月	21	日	
	22	月	警備防災部会全体集会 ビルクリーニング部会B班小委員会
	23	火	勤労感謝の日
	24	水	設備保全部会ビル冷暖房自主管理推進協議会見学会(環境局東淀工場) ビルクリーニング部会A班小委員会 ビル設備管理科訓練2級実技(~25日)
	25	木	警備防災部会 労務管理セミナー
	26	金	病院清掃受託責任者講習再試験
	27	土	
	28	日	
	29	月	ビルクリーニング技能検定水準調整会議 KKC公益事業委員会 近畿地区本部定例会・懇親会
12月	30	火	
	1	水	三役会議、理事会
	2	木	KKC防除作業従事者研修、第一種衛生管理者受験準備講座
	3	金	KKC理事会
	4	土	
	5	日	
	6	月	ビルクリーニング受検準備講習・学科(~7日)
	7	火	警備防災部会(天王寺) ビルクリーニング部会 KKC第一種衛生管理者受験準備講座
	8	水	経営委員会 賛助会世話人会 KKC監事会
	9	木	ビルメンキッズデー(キッザニア甲子園) KKCビルクリーニング受検準備講座(~10日)
	10	金	広報委員会
	11	土	
	12	日	
	13	月	
	14	火	設備管理評価セミナー(~15日) KKC第一種衛生管理者受験準備講座
	15	水	労務委員会
	16	木	広報委員会 設備保全部会 青年部分科会 KKC第一種衛生管理者受験準備講座
	17	金	総務友好委員会 臨時総会 KKC臨時総会
	18	土	
	19	日	
	20	月	

おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの投稿を募集しています
●題材・・・自由。
協会への提言、季節雑感、詩、短歌、俳句、川柳等々、何でも結構です。
●字数・・・15字×16~19行の間に、本文、会社名、筆者名を全て記入して下さい。

K K C お薦め講習会

12月実施予定の(社)関西環境開発センター主催の講習会では、次のコースがお薦めです。
ぜひ多数の方に受講していただいて、確実な資格取得を実現して下さい。

●第1種衛生管理者受験準備講座

試験合格に必要な重要なポイントと模擬試験を織り交ぜた実践的な講座で、短時間に学習効果があがるよう、講師が懇切、丁寧に指導します。

<対象> 第1種衛生管理者の免許取得をめざす方
<日時> 平成22年12月
2日(木)・7日(火)・14日(火)・16日(木)
4日とも午前9時30分~午後4時30分

●ビルクリーニング技能検定受検準備講座

技能検定の実技3課題である「床表面洗浄作業」、「ガラス面洗浄作業」、「カーペットの汚れ取り作業」の反復練習を主に指導します。

<対象> 技能士合格をめざす方
<日時> ①コース 平成22年12月
9日(木)・10日(金)
②コース 平成22年12月
21日(火)・22日(水)
①②コース、両日とも午前9時~午後5時

編集雑感

先日、幼なじみのメンバーから招集がかかり、六甲アイランドから半日乗船するツアーに参加した。ETC割引の影響でフェリー会社は客数減に見舞われているため、今回のツアーは船の旅を見直してもらおうとするキャンペーンのような企画であったが、長距離をクルマで移動することが嫌な私にとっては十分得られることがあった。個人的に考えるポイントは、①人数が多いと飛行機や新幹線より安い、②犬や猫などペットと一緒に寛

げる個室が用意されている、③移動中の事故や渋滞に巻き込まれない、④現地でレンタカーを借りなくても慣れたマイカーで移動できる、⑤下船時間に注意が必要だが、長距離航路であれば宴会が可能。という5点であった。ETC割引には多くの目的があるようだが、遠方への移動は疲労とCO₂の削減からフェリーとの併用が効果的に感じた。

しかし、こういったメリットは私に限って言えば今回乗船するまで聞いたこともないし、今回も価格以外は強いアピールもなされていなかった。

昨今、日本を含め多くの国では商品やサービスについて安い金額が優先されるため、価格のみがアピールされる傾向が強い。ところが、日本の貿易収支を見るとG8の中で近年、イタリアとフランスのみ対日貿易が黒字であるという事実がある。環境に左右されず価格競争に巻き込まれないブランド品の構築や自国の強みを活かす戦略・アピールが中長期的に安定して利益を上げることができる、ということだ。

金額重視の目利きや提案だけになっていないか常に自問自答しなければ、と考えている。(T・M)